

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

#### 学校経営中期取組目標

- 児童、教職員、保護者、地域住民など、そこに関わるすべての人々が、共に学び合い高め合う学校を目指します。
- 子どもたちが自分の好きなこと、本当にやりたいことを見つけ、自分たちの力で解決していくための、学びの場や時間を保証します。(解決)
  - 子どもたちが生命・健康・個性を大切にし、自分らしさを発揮できるようにします。(個性)
  - 子どもたちが互いのよさや、可能性を認め合えるようにします。(共生)

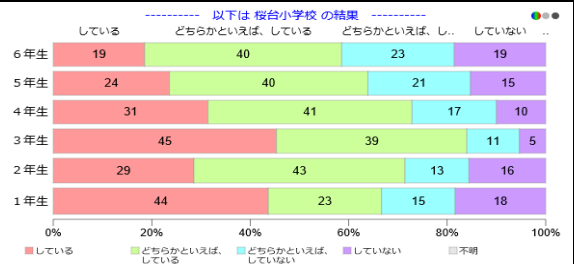
### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		自分自身を客観的に見る視点を持たせ、個性を認め合い、考えを尊重し合い、互いに共存していこうとする態度を育む。	道徳教育・たてわり・クラブ・異学年交流、さらに地域や他校などの交流活動を通して、幅広いコミュニケーションを体験すると共に、学年に応じたためあてをもって取り組む。 ※活動内容は社会情勢により変更有
	担当		

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

生活意識に関する調査結果からは、生活の軸線が家庭内に偏り、地域とのつながりが希薄になっている様子が伺える。学校が両者をつなぐ役割を果たすと共に、家族や友だち以外の他者との関わりを増やしていくことで、より多角的に自分自身を客観視する視点を育むことが求められている。

『まちな行事に参加していますか（令和元年度調査）』



## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 指針1 「特別の教科道徳」の充実 ※道徳教育全体計画・別葉 カリキュラムの実施

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に年1回以上公開する。(社会情勢により変更有)
- ・系統的に道徳的価値に触れられるように、実態に合わせたカリキュラムづくりを検討していく。
- ・多面的・多角的な見方へ広げられる授業を展開する。
- ・家庭や地域での様子（あいさつ等）について、アンケートで子どもの実態把握を行い、道徳の時間に生かす。

### 指針2 体験学習の充実

- ・「たてわり」「児童会」「クラブ」活動などの異年齢集団活動を、より自主的、意欲的に行うことができるようにする。
- ・学校生活をよりよくするための「係活動」や「当番活動」に自主的に取り組むことができるように、自分たちで計画を立て運営できる力を育成する。
- ・小学校での学びを見通したうえで活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然や文化に触れる「集団体験」を充実させる。